部活を引退する3年生の想い・・・・・・

１８日で剣道部を引退した橋本尚くんから、メッセージが寄せられました。

剣道を通して学んだこと

３年　橋本　尚

私は３年間、健先生のもとで剣道をやってきて、正しさと諦めないことを学びました。

高校に入学した頃、私は何度も何度も学校を休んだり、問題を起こしたりしました。そんな時、叱ってくれたのは健先生でした。１年生の頃の私はへなちょこで練習についていけず、周りの仲間との技術の差を痛感しても「追いついてやる！」とはならず、ただ落ち込む一方でした。それでも先生は私の直さなければならない事や、根性を厳しい稽古の中で正してくれました。

「剣道は人間形成の道だ」ということを聞いた２年生になりたての私は、意味を深く理解できず、剣道の中で答えを出そうと決め、その頃から部活動に熱を入れ始めました。時に夏の暑い中、時に厳しい寒さの中練習をしました。２年生後半になり、ふと今までのことを振り返りました。健先生の言う「スジ通せ」の意味と、自分の行いを改めて考えて、少しだけ恥ずかしくなりました。きっとこの頃から自分でも気がつかないうちに変わってきていたのだと思います。

先輩が引退してから３年の最後の大会まではとても短く感じました。諦めず、努力を最後までして、負けたとしても「やりきった」と言って終われるように、残り少ない練習を頑張りました。高校最後の大会の結果は２回戦で敗退しました。しかし、どこか嫌な終わり方ではなく、すがすがしさを感じました。己の変化を与えてくれた周りの方々と健先生には感謝してもしきれません。

最後に後輩達へ向けて一言。いつも言っていたけれど、無理だと諦めたら先は見えない、前は向けない。だから、自分で自分を元気づけて、前を向いてほしい。そして最後には胸を張ってやりきった！と言えるような、悔いのない己の剣道をしてください。